AIとは

そもそもAIを簡単に表現すると「数理統計的にその値が適切なのかを計算する方法」。
たとえば「おはよう」に対する返答として、「こんばんは」が正しいのか、「おはよう」が正しいのかを計算によって導き出す仕組みを俗に「AI」と呼ぶ。

<http://www.sensors.jp/post/ai_optimumfuture1.html>

＊特化型AI…特定の決まった作業を遂行するためのもので、自動運転技術や画像認識、将棋・チェス、人との会話など、一つの機能に専門化して稼働するもの

＊汎用型AI…特定の作業やタスクに限定せず人間と同様の、あるいは人間以上の汎化能力を持ち合わせているもの

自動翻訳

Ex.自動翻訳機→コミュニケーションがとりやすくなる。キャリア形成のために「好きでもない英語を頑張る」必要はなくなる。自動翻訳がコミュニケーションをサポートできれば、お互いに積極的になれる。もっとモノも売れる。(外国人観光客向け、ビジネス的に良い) 日本のサービスを世界に出しやすくなっていく。

テレビ電話が通訳に　スカイプがリアルタイム翻訳機能（⇒ppt資料）

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO82389920W5A120C1000000/>

(反対側が誤訳になる場合が多い、と指摘するかも)

→現時点で自動翻訳は誤訳もありますが、それは話し手に問題がある場合が大半。たとえばline翻訳だと「今日、一緒にご飯に行きませんか？」の場合、「ご飯」が「rice」と訳されるから誤訳になってしまう。しかし、「今日、一緒に夕飯に行きませんか？」と直せば、ちゃんと翻訳してくれます。このように、繊細な言葉選びができればスムーズに自動翻訳可能。

**●活用例**

**■ コミュニケーションを最適化するスマートスピーカー「Clova WAVE」**

ハードウェア自体はBluetoothのスピーカーだが、これ自体がインターネット上のAIに繋がっている。クラウドに繋がっているほかのユーザーのデータもどんどん学習していく。Lineが将来的に目指すのはスマートフォンや車、家電がネット上のクラウドAIに繋がる世界。

LINE株式会社取締役CSMO（Chief Strategy and Marketing Officer）の舛田淳さんは、

AIに自我があるかどうかはさておき、知性があるように思わせたり、恋愛感情を持っているかのように感じさせることは可能。ドラマや漫画を描く際にプロファイルを書くように、clovaにも実はプロファイルがあった。あまりユーザーと距離が近すぎると怖がられたり鬱陶しく思われることを敬遠して距離を取る形にした。だが、実際のユーザーログを見るとガシガシに距離を求めている。「～して」というコマンドよりも雑談が大半をしめている。

(↑反対側にAIがこわい、というような内容のことを主張したときの対抗策になるかも)

<http://www.sensors.jp/post/ai_optimumfuture1.html>

<https://www.youtube.com/watch?v=MpY_zic0RhE>

↑音声のみですが、上記の放送のものです

自動車自動運転：様々なセンサーからデータを取得しＡＩで処理し、自動で運転する。実験や測定結果を反映することを繰り返すことにより制度の高い運転が可能になる。

メリットは…

ドライバーは常に周りに気を遣って運転しなければいけないので、ドライバーの代わりに車が周りの状況判断をして、サポートをしてくれれば負担は減る。それによって運転が楽になると言える。

　また、運転の安全性が上がる。自動運転が普及すれば自動車のカメラや、センサーの機能が高まり、人間では追いつかない判断状況において自動車が危険を察知してくれるのだ。これにより歩行者の安全性などもより高まるだろう。自動運転の安全性に関して、心配するかもしれないが、自動車事故の原因の大半は人間の操作ミス（⇒ppt資料）によるものなので、今後自動運転の技術が向上し、ドライバーの関与がいらなくなれば逆に安全性は上がると予想できる。

参考URL

<https://www.kurume-it.ac.jp/style/self-driving>

交通事故の原因

<https://www.kakekomu.com/media/869/>

マーケティング、仕事

○仕事が効率的になる

1. 自然言語処理：人間が日常的に読み書きや話しに使う言語をコンピューターに処理させること。例としてＥCサイトに訪問したユーザーごとにその趣向に合わせた商品を薦める。下記の東京海上日動火災保険の例。東京海上日動火災保険：ＡＩの画像処理機能を使い膨大な手書き書類を9割以上の精度で識別し、処理時間が半分になり業務効率化を図る。
2. Webマーケティング：現状マーケティング担当者が行っている各種データを収集し分析して最適なキャンペーン手法をＡＩが提案する。下記のICI石井スポーツの例。

ICI石井スポーツ：AIによる来店者分析サービスを導入し、店内に設置されたカメラの画像から来店者の属性や行動を見える化し、そのデータを品揃えやコーナー展開に活かす。

1. 医療：１．遺伝子解析…癌の遺伝子解析

　　　　２．総合診療支援…医師の診療の効率化や見落とし、診断の偏り等回避しやすい

　　　　３．画像診断…ディープラーニングを用いてレントゲンやCT画像から癌の検出

　医薬品開発…医学論文を学習したAIが新規物質を見つけ画期的な新薬開発を後押しする。

以上のことが東京大学医科学研究所、自治医科大学、米国のEnlitic社、がん研究会FRONTEOヘルスケアなどで行われている。

人工知能は人間のように柔軟な考え方はできないが、プログラムを組み込むことによって、単純労働を人工知能に任せることができる。その分、人間は自分たちのやりたい仕事に専念することができるようになり、非常に効率が良くなる。そうすることで、サービスの単価が下がり、人々の経済負担の削減につながり、生活の質が向上するという好循環を生み出す。

心配事として挙げられるのが、人工知能が普及することで人間が必要なくなること

言い方を変えれば仕事を代替していくということ

例：自動運転により無人タクシーができても｢運転手と話がしたい｣という需要がある限り雇用が０になることはない。

新旧例から：駅の改札…改札で人間が切符を切っていたが自動改札機が導入されたことで、切符を切る人はいなくなったが、改札を通るためのアプリやプログラムの開発など新しい仕事が生まれている。

・代替可能な職業から：弁護士…大量の法律関連の文書から必要なものを見つけ出すことはAIの得意分野だが、依頼人とコミュニケーションをとりながら問題点を整理することは現在のAIにはまだ難しい作業である。よって、人とAIがそれぞれ得意な領域を担当しながらより生産性や品質を高めるという方向性が望まれる。

・導入コストの点から：導入により採算がとれず引き続き人間かやった方が安価だと判断をする企業もあるだろう。AIで代替するかどうかは、技術的な実現性のみで判断できるものではなく、投資による効果が得られるかどうかが問題になってくる。

以上のことからAIを導入したからといって仕事がなくなるとは言い切れない。